＜第４１１６回＞
目的地：五助橋堰堤～東おたふく山（六甲）　　**みんなで踏破！青雲会日帰り６０山　No.135**
担当者：白神　智
実施日：2021 年 3 月 27 日(土)
形　式：ハイキング
費　用：￥560.-(阪急大阪梅田発着)
参加者：10 名
石居利里・今中良和・岩谷多恵子・川口貴史・島崎美奈子・田名部大一・中村博一・真鍋美和・南美幸・白神智
天　気：晴れ
行　程
阪急御影駅 (8:35)→(10:00)五助橋堰堤[五助橋断層探索](10:40)→(11:50)雨ヶ峠[昼食](12:25)→(12:40)東おたふく山(12:55)→(13:20)東おたふく山登山口→(13:50)芦屋ゲート(14:10)→(14:55)荒地山(15:05)→(15:45)風吹岩(16:00)→(16:45)高座ノ滝(16:55)→(17:30)阪急芦屋川駅[解散]
感　想：
　五助橋堰堤を下流側から見上げると、堰堤とは思えないくらいの高さです。堰堤としては六甲山系で最大とか。堰堤の上流側は軽くプチ湿原ぽくなっています。ここで、今回の例会の最重要ミッション、五助橋断層の探索です。少し歩き回ったのですが、確信が持てる場所が見つからず、なんとなく断層っぽく、断層の資料写真ともそれなりに似ている場所があったので、ここにしておこうということで写真撮影。撮影が終わってもう一度ＧＰＳと断層に関する資料をつきあわせてみたところ、どうもひとすじ違う沢の少し上流の方みたいです。白神がちょっと偵察に行きましたが道が荒れていてなかなか険しそうだったので、先ほどの場所でお茶を濁しときました。
堰堤からは静かな登山道を雨ヶ峠へ。ここで昼食をとった後東おたふく山へと向かいました。
東おたふく登山口からは芦有ドライブウェイの脇の登山道を芦屋ゲート付近まで。ゲートの手前で、沢の流れが何段かの滝になっている場所があってそこで写真撮影。荒地山を越えて風吹岩に着いた頃には日も少し西に傾きかけていましたが、この時間には人も少なくなっていて静かな風吹岩でした。これからロックガーデンを抜けて高座の滝へ下るわけですが、一日歩いてきた足には、ロックガーデンの下りは結構堪えました。普段ロックガーデンは登山の始めに通ることが多いものですから。でも今日あたり、この岩場はすごい渋滞だったじゃないかなー。朝、芦屋川駅で大勢の登山の恰好をした人達が下りてましたし。
高座の滝から芦屋川沿いの道は、図らずも満開の桜を見ながらの帰路となりました。まぁこれでよしとしよう。